外科（必修）

1．到達目標

（1）一般目標（GIO）

臨床研修の基本理念に基づいて、4-8 週間の研修を行う。患者の病態を理解し、手術によって患者の状態がどのように変化し、軽快・治癒へつながっていくのかを学ぶ。

外科の一員としてチーム医療を学び、円滑にチーム医療を提供するために必要なコミュニケーションスキルを獲得する。

（2）行動目標（SBOs）

手術前までに患者の病態を理解し、手術の適応や具体的な手技や手順を学習する。担当患者の術後の全身管理について習熟する。また、積極的にチームスタッフとの情報共有を行い、適切なマネージメントを上級医とともに行えるようになる。

2．方略（LS）

（1）外来診療

指導医のもと、外科に必要な問診や身体所見の取り方を学ぶ。

（2）病棟診療

常時 3-8 名程度の患者を指導医・上級医とともに受け持つ。予定されている手術の適応や具体的な手技や手順を学習する。受持患者の一般撮影、エコー、CT、MRI、消化管造影、内視鏡などの各種画像検査の読影法を学ぶ。周術期の管理については、身体所見や血行動態、画像検査や採血検査の結果、リハビリテーションの進捗具合等を総合的に評価できるようになる。創部観察、創傷処置、ドレーン管理など、毎日の回診処置から学ぶ。

（3）初期救急対応

急性腹症の患者を診察し、問診や身体所見により診断名を推定できるようになる。代表的な疾患の確定診断に必要な画像検査およびその画像所見を覚える。また、血管確保、経鼻胃管挿入留置などの手技を実践し習得する。体腔ドレナージには助手として参加する。

3．評価（Ev）

全科共通の評価表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて評価

4．週間スケジュール

	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス			カンファレンス	カンファレンス
午前	包交、手術	外来診察	包交、手術	包交、手術	外来診察
午後	手術	手術	手術	手術	手術